

～播磨の偉人と実務者から革新に目覚め、行動を誓う日～

黒田官兵衛

December 22, 1546 – March 20, 1604



福岡市博物館蔵

「我、人に媚びず 富貴を望まず」

黒田官兵衛は、天文15年(1546年)に生まれ、播磨の地で育ちました。官兵衛は、若いころから熱心に和歌や文学を学ぶなど高い教養を身につけ、22歳の時には、小寺氏に仕官していた父・職隆から家老職を継いで姫路城代(城主に代わって城を管理する者)となり、その後、織田信長や豊臣秀吉に仕えることになります。特に、官兵衛は秀吉の参謀として大きな役割を果たしました。天正10年(1582年)、秀吉が毛利氏と対峙し、備中高松城(岡山市)を攻め込んでいたさなか、「本能寺の変」が起こり、秀吉は主君・信長の死を知り泣き崩れます。しかし、この時官兵衛は、速やかに京都へ向かい明智光秀を討ちとるべきだと秀吉に進言し、世に言う「中国大返し」が成功。秀吉は光秀を滅ぼし、天下統一に大きく近づくこととなります。

官兵衛は、稀代の軍師と呼ぶにふさわしい活躍を見せる一方で、名誉や利益を好まず、儉約を旨とした人物でもあり、その生きざまは多くの人々の心をとらえています。

姫路市 HIMEJI CITY

中核市及び国際会議観光都市に指定されている。周辺自治体を含め、773,389人(2015年)の姫路都市圏を形成する。兵庫県下2位の商工業生産額と人口を擁する都市であり、播磨地方の中心都市である。国宝姫路城、書写山円教寺、三大霊神輿の一つとされる羅のけんか祭りなどの、播州の秋祭りが有名。国宝姫路城は平成5年12月、奈良の法隆寺とともに、日本で初の世界文化遺産となる。シラスが羽を広げたような優美な姿から「白鷺城」の愛称で親しまれる姫路城。400年以上が経過した現在でも、その美しい姿を残しています。



WELCOME to HIMEJI!



会場までのアクセス

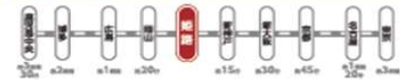


飛行機でお越しの場合

関西国際空港から約130分(直達リムジンバス)
 大阪(伊丹)空港から約90分(直達リムジンバス)
 神戸空港から約70分(空港からポートライナー+JR)



新幹線をご利用 新幹線「のぞみ」停車駅。



JR在来線をご利用

